

平成23年10月28日
食肉鶏卵課鶏卵食鳥班

鶏卵需給連絡会議及びブロイラー需給連絡会議と鶏卵生産指針のあり方について

1. 鶏卵需給連絡会議及びブロイラー需給連絡会議について

- (1) 昭和40年代から、都道府県や関係団体を招集して、鶏卵需給連絡会議及びブロイラー需給連絡会議を開催し、生産者等に対し需要に見合った生産を呼びかけてきたところ。
- (2) 主な検討内容としては、都道府県の生産需給動向調査データに基づき、
 - ① 鶏卵については、平成15年度までは需給の安定及び計画的生産の推進について意見交換を行い、また、計画生産を廃止した平成16年度以降は、全国的な鶏卵の需給に関する状況分析を行い、生産者の合理的な経営判断に資するための鶏卵生産指針の策定に向けた意見交換
 - ② ブロイラーについては、需給の安定及び計画的生産を推進を図るための意見交換を行ってきたところ。
- (3) しかしながら今般、
 - ① 鶏卵については、平成23年度から実施している鶏卵生産者経営安定対策事業に需給改善のための事業が措置されていること、また、鶏卵生産指針に基づく生産動向予測の考え方と実際の動向が大きく異なっていること、
 - ② 鶏肉については、生産サイクルが短いことに加えインテグレーション化が進展していることから、需給事情の変化への対応が容易であり、個々の生産者の需給調整に対する役割が薄れきっていること、等、会議発足当初と比べると状況が大きく変化している。

また、近年は鳥インフルエンザの発生や暑熱の影響等により、飼養羽数に一時的な変動が起こりやすく、一定の精度のある将来予測を行うことは極めて困難な状況。

このため、年2回の需給関係の全国会議の開催や鶏卵生産指針作成について、見直しが必要になってきているのではないかと考えているところ。

2. 今後の対応方向

上記1の(3)の課題点を踏まえ、今後の全国会議と生産需給動向調査及び鶏卵生産指針の取扱いについては、以下の(案)を提案する。

(案)

- 全国会議を年1回開催し、これまでの需給動向に特化した会議ではなく、今後は養鶏行政全体に関する幅広い情報提供、意見交換の場とする。
- 鶏卵生産指針については、生産局長通知を廃止し、今後は策定しないこととする。
- 従来から実施していた鶏卵及びブロイラーの生産需給動向調査については、別紙のアンケートを踏まえて検討する。

(別紙)

鶏卵・プロイラーの生産需給動向調査の見直しの方向について（アンケート調査）
※ 平成23年11月末日までに提出お願ひいたします

1. 都道府県名 都道府県

団体名 _____

2. 今後の対応方向（□にチェック入れて下さい）

(1) 鶏卵

- ① 生産需給動向調査は廃止する。
- ② 従来どおり、半年毎に生産需給動向調査は実施する。取りまとめ結果については、HP等で情報提供する。

(2) プロイラー

- ① 生産需給動向調査は廃止する。
- ② 従来どおり、半年毎に生産需給動向調査は実施する。取りまとめ結果については、HP等で情報提供する。

※ アンケート調査の結果、②を選択した都道府県における鶏卵生産量又はプロイラー出荷羽数が、全国の鶏卵生産量又はプロイラー出荷羽数の割合が現在の調査による補足率（約8割）に満たない場合には、データとしての精度の観点から、生産需給動向調査は廃止する方向で検討したい。

3. その他、本件についてのご意見等あれば、以下に記述願います。

お問い合わせ・ご意見提出先
農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課鶏卵食鳥班
担当者：川原、江藤、赤松、河北
代表：03-3502-8111（内線4942）
ダイヤルイン：03-3502-5990
FAX 03-3502-0009